

富士川

2月号 昭和45年2月25日 No.116

富士川町役場発行
富士川町岩淵121番地
電話 01111

町の人口

45.2.1現在	15,179人
男	7,490人
女	7,689人
世帯数	3,415世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T 630304



(写真提供 外村錠三郎)

春です。

二月二十八日の不動尊祭典(木島)を皮切りに、三月二日の文珠祭典(北松野)、三月十五日、不動尊祭典(北松野)、三月十七日大観音祭典を経て濃緑の春へと向かう。

大観音祭典

新豊院(岩淵)の祭典で、この日、白布一八〇反の聖観音大画像(大村西崖筆)―写真上―が寺の裏山の頂から懸垂され、参拜の善男善女の目を奪います。

大正13年、今上陛下のご成婚を祝して作られたものです。

この聖観音は、一緒になることを願う恋人たちの縁結びをとりはからうというイキな仏さま。

例年、屋台店が境内に軒を競いたいへんにぎやかなお祭で、ご詠歌斉唱、余興等の行事のほか、呼び物の観音像(一尺五寸立像・九谷焼)の引き当も行なわれる予定です。三月早々の同寺総代世話人会議が祭の運営細目を決めます。

木島不動尊祭典

円通寺(木島)の祭典で、白布二〇反の不動明王画像が、荒々しい形相を見せます。

文化年中、清源鉄心の制作したものを、大正二年、岩田松濤が改写したものと伝えられています。火災防護、事故防止の仏として尊崇されています。

初の町合併推進協議会

国土計画協会
中間発表

三町総合開発の説明を聞く

三町合併を検討する機関として、富士川町合併推進協議会設置が、一月十二日開催の議全会員協議会で決定され、学識経験者を含む38委員の選定をみています。
そして、那の総合開発プランを作成している財団法人国土計画協会の中間発表を待って、第一回の町合併推進協議会を開催することに決定していました。

国土計画協会は、予定より二カ月遅れて、二月二十一日午後三時蒲原町役場に三町の合併推進協議会委員百六十名を集めて、中間報告説明会を開催しました。当町合併推進協議会は、それに先立ち同日午後一時に初の会合を開き、続いて同説明会に出席しています。
この第一回協議会席上、合併問題には住民の意向を十分汲み入れて、町将来を考え慎重に進めていただきたいという委員の意見が聞かれました。

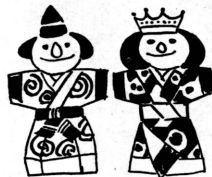
由比漁港に

ヨットハーバーを

中間報告説明会で明らかにされた国土計画協会の「庵原郡開発基本方針」は次のとおり。
なお、この構想をまとめたのは協会に設置された庵原地区総合開発調査委員会（松井達夫委員長・早大理工学部教授・ほか委員8名）です。最終報告は4月の予定。

居住環境の改善
現在の三町市街形成地は、国道一号線に沿っており、交通公害と工場公害におかされており、居住環境が非常に悪い。
住居の移転をはかるべきで、適地として松野地区、由比川下流地区があげられる。
このような居住区設定により、

散在する農漁村集落もこの地区へ集中させ、都市施設の整備水準を向上させる。車の普及により通勤農漁業が可能という現実性がある
既存市街地の更新
住居を移転した国道一号线沿線の既存市街地は、生産・流通活動の場として絶妙な位置を占めている。地区更新を誘導すべきである
農業の振興
柑橘濃密団地に指定されているが、将来は、零細な経営規模の拡大をはかるとともに、広域交通路からの接近性を考え、観光農業を検討する必要がある。
漁業の将来
さくらえびを中心に高収益をあげる



ているが、後継者問題、漁場縮少のおそれがある。水上リクリエーションとの共存を考えたらどうか

工業の拡充
富士川右岸河口の平坦地は、工業用地として適している。公害をともなわない都市型工業誘致を、

商業の将来
中心居住区の形成が行なわれれば

近隣の商業機能は大いに増進される。また、高次商業機能も後述のモーターパーク、ヨットハーバー等の実現によって発揮されるよう

新機能の追加

国道一号线バイパス、富士川富沢線バイパスによって、通過交通を排除し、国道一号线、県道富士川富沢線のサービス道路への転格

渡辺富士市長語る

公害問題

「近隣市町の意向尊重」

火電設置反対運動は、ここしばらくの間、静観の立場をとっていましたが、新富士市長誕生を機に同市長に対する期待をこめての動きが活発化しようとしています。

二月五日に、火電反対一市四町連絡協議会（当町関係者―芦川守正公害対策特別委員長・斎藤昌巳同副委員長・高岡文夫助役・大久保芳夫企画課長）は、渡辺富士市長と会見し、公害と火電設置について、同市長の考えを伺っています。

また、二月十二日には、三町の正副議長、常任委員長等十八名が同市長を訪問、市長当選の祝辞を述べるとともに、火電設置反対の住民決意をあらためて伝えました

渡辺富士市長は、次のように述べています。
「十八万富士市民の健康と生活を守るというのがわたしの市政に対する基本姿勢です。が、公害については、空と海とは一つであり、富士市民だけじゃなければよいというわけにはまいりません。当然近隣市町の意向を尊重し、大きな視野に立って地域の発展を考えます。」

東電火力発電所設置についての市の態度は、さきの議会で意志を決定し、県の裁定待ちとなつています。
難問であり、わたくしは熟慮に熟慮を重ねて検討します」

米の生産調整

県 三千八百ヘクタール

政府は、ご承知のとおり、45年度農政の方針に一五〇万トン以上の米の減産実施を掲げています。

この一五〇万トンのうち五〇万トン収量の耕地一二万ヘクタールは、政府において工場用地や宅地として転用し、残りの一〇〇万

トンは、都道府県に作付反別および生産収量に応じて割当てることになりました。

静岡県に割当てられた収量

減産目標収量 一万四千百トン

〃 面積三千八四〇ヘクタール
減反の目標数字は、44年稲作面積の七・九％。

生産調整奨励金一〇アール当り

全国平均 三万五千〇七三元
〃 三万〇〇〇九元

この配分の補助金のきめ方は、農業共済の引受反収により計算されるので、耕地によって違ってきます。

水田一枚を一単位に、キロ当り八一円として交付されます(44年度産米の反収が基準)

県知事は、市町村に対し強制的に割当はしないが、米作農家の自

由調整で政府の減産方針に協力すると述べており、したがって、生産調整は、農業事務所および市町村単位に、自主的に生産調整推進協議会を設置して実施されることになりました。

県は、調整を円滑にすすめるため、飼料作物、野菜、果樹等地域特産物などに転作するよう、また立地条件などから転作が困難な場合は、休耕地の維持管理が適切に行なわれるように指導します。

現在、国は、五六〇万トンの過剰米をかかえているといわれますが、これは、過去三カ年間の増収のほか、食生活変化による米消費量の減少によるものです。

三町正副議長等

火電反対など陳情

三町の正副議長、常任委員長等一行十八名は、二月十二日、昨年暮の郡議員大会の決議事項陳情のため県庁をはじめ各関係機関を訪問しました。(陳情事項次の四件)

- ① 富士川右岸の土地造成
 - ② 県道富士宮由比線の早期開通および関連農林道の開発促進
 - ③ サービスエリヤ乗入道の設置
 - ④ 東電富士川火力設置反対
- 県庁では、まず佐藤県議会議長と会って陳情。

同議長は四件について熱心に意見をのべ、また、現在、努力している点を説明「郡三町はますます

火災予防運動始まる

県内昨年の死者27人

春の全国火災予防運動が始まります。

二月二十八日から三月十三日まで、前半の七日間は、車両、林野の火災防止に重点をおきます。

44年中の本県における火災発生件数は、一六八七件と前年に比較して九六件も増加し、また、火災による死者は二十七人、負傷者は二百四十三人で、前年より死者六人、負傷者十二人の増となっています。本年にはいっても、すでに八人の死者を数えています。

全国一斉実施事項

- ① 作業所と併用する住宅の点検
- ② 旅館・ホテルにおける避難施設の整備と宿泊者に対する避難経路

一致協力して広域行政をすすめる必要がある。今後も本日のこのような会合をひんぱんに開催する必要がある」と語っていました。

一行は、四件についてさらに積極的に努力するむねの確約を得た後、同議長の紹介で関係各部長と会い、陳情。午後は東電沼津支店富士市を訪問、火電設置反対決意の再確認を求めました。



の案内

③ 就寝前の火の元点検
なお、多数の人の出入する場所での消火および避難訓練の習慣づけ運動も積極的に推進されます。

ことは、とくに火災による死傷者をなくすことに重点がおかれています。

小山地区

近代農業への努力

小山地区は、中部農業改良普及所清水支部から甘藷重点対象集団の指定をうけ、明るい農村作りに取り組んで三年目を迎えています。

この柑橘重点対象集団(植松森雄会長)は、同支部の指導により、七〇年代を迎えるに際し、近代農業地区として発展すべく、努力を積み重ねてきたものです。

① 貿易自由化などにたち打ちできる農業経営を進める。

② 農家の主婦を中心に近代的な生活設計を打ち出す。

この二つを研究活動の重点にして、男子は営農設計面の研究のため、経営記録簿を毎日つけて各個人の経営実体を把握したうえで部落振興計画を練り、主婦は、生活設計面を担当して、「わが家の長期計画表」を作成、明るい家庭をつくることから部落づくりを発展させていこうと、懸命です。

広報通信員(木島) 植松重行

恩給法等の法律改正

該当する方は照会を

もとの軍人、軍属あるいは戦没者の遺族等に対する援護が、恩給法や援護法等の法律改正で、昨年十月から該当範囲がさらに広がりました。

該当すると思われる方は、役場住民課へご照会ください。

軍人恩給（恩給法の一部改正）

※恩給年額の増額

・普通恩給および扶助料

・傷病恩給

（ともに40年10月改定時の44・8%増）

※恩給外所得による普通恩給の停止基準の是正

・恩給年額の基準 二二万円以上を二四万円以上

・恩給外所得の基準 一〇〇万円以上を二〇万円以上等に

※その他、長期に職者の恩給年額についての特例等はほか8件ほど改正されています。

遺族援護

※援護法

戦時中、徴用を受けたり、学徒動員によって工場等に勤務し、そのため病気になるて死亡した

ものの遺族等が新たに援護法の対象になったほか、特別弔慰金および戦没者の父母に対する特別給付金支給の範囲がやや広げられました。

戦傷病者特別援護

※第二・三款症に該当する傷い軍

生存旧軍人、軍属の

定例叙勲を再開

戦争に相当長期間従事した生存旧軍人、軍属の方々（下士官（判任官）以上で、加算を含め十二年以上勤務者。ただし、その期間は二分の一計算）に対する定例叙勲は、当時、本人に内報されましたが、大部分の方は、勲記・勲章を未受領のまま終戦となり、昭和二十二年、事務なかばで打ち切りとなって今日に至りました。

政府は、今回、昭和45年度から

これらの方に対する叙勲事務を再開するよう計画しています。

該当する方は、四月末日までに

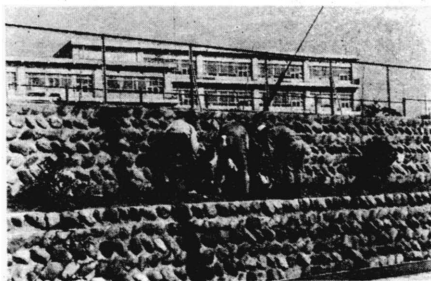
隊友会富士川支部は、昨年八月

人・軍属等の妻に「特別給付金」が支給されます。昭和44年10月1日から第二款症と第三款症の方の妻にも「額面五万円・十年償還・無利子・記名国債」が支給されることになりました。

特別給付金を受給できる妻や、夫である傷い軍人・軍属等について、それぞれ一定の資格要件が定められていますので、受給権や請求手続きの細部については役場住民課へお問い合わせください。

富士川町役場住民課へ次の資料を持参して申し出てください。
①軍人、軍属の履歴資料
②恩給受給者はその証書
なお、復員後、公務傷病によって死亡した方は、戦没者叙勲の対象となりますので、この叙勲からは除かれます。（役場住民課）

写真 一小校庭外側に植樹するPTAの役員



一小PTA こんどは植樹

一小PTA（常盤雅文会長）の役員二十人は、男子の先生全員とともに、三月十五日（日曜日）同校庭に集まって、フェンスの外周と内側に各種の苗木七十六本を植樹しました。

同PTAは、グラウンド整備工事を完了後、一月二十日、総額約百万円の鉄棒・はんとろ棒・うんていなど体操器具を贈っており、今回の事業実施で、名実ともに立派な校庭をつくりだしています。

苗木は、つつじ・木せい・メタセコイヤ・まさすぎ・さつき・さざんか・ひばなど数多く、父兄が寄付したものです。

当日は、うららかな好天気めぐまれ、皆さんは、苗木を一本、一本、たねんに植樹していかた。

二小へ立奏用木琴 望月さん寄付

望月市子さん（農・原方）は、昨年十二月八日、五万円を二小へ寄付。同校は、その寄金をもって立奏用木琴2台を購入しました。なくなられた母やすさんのご遺志によるものです。

会員募集

隊友会富士川支部

隊友会富士川支部は、昨年八月

郡駅伝大会

当町、三年連続優勝

第8回庵原郡駅伝競走大会は、二月十五日(日)、蒲原町神沢変電所(サービスイリア)蒲原町役場前間14・5キロ6区間のコースにより挙行されました。

参加チームは、一般3、青年1中学10の計14チーム。

この駅伝では、富士川町一般チーム(安藤文夫・生駒猛・加藤和久・小林千洋・古川和正・古屋逸



写真 三年連続優勝した当町チームの選手、役員関係者

巨の六選手)が、見事、三年連続優勝を飾り、注目を浴びています記録は48分45秒で、2位蒲原町、3位由比町の順。

青年の部は、蒲原、由比両町が棄権、当町が独走。

一般の区間一位の内当町関係次のとおり。

- (敬称略)
 - 1区 9分15秒 安藤文夫
 - 3区 8分42秒 生駒 猛
 - 4区 7分45秒 古川和正
- 中学生の部では、富士川二中A

清庵駅伝で

当町体協第3位

第19回清庵駅伝競走大会は、二月二十五日に挙行されました。

一般の部31チーム、地区体育会6チームの計37チームが参加、午前十時、清水市、鈴与本社前を出発、真崎、三保灯台前を右回、全長17キロ4区間のコースで熱戦。

その結果、当町の富士川体協は第3位に入賞しました。

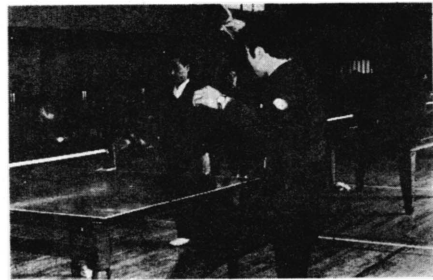


写真 一小体育館内で熱戦展開

チームが2位、一中Aチームが4位の成績でした。

町民卓球大会

個人戦 関原君優勝

44年度町民卓球大会は、二月十五日(日)、一小体育館で挙行されましたが、参加選手は個人戦出場者だけでも七十六名という盛大な競技となりました。

場内は、若い熱気がみなぎり、体協卓球部(望月貞部長)役員皆さんの長年にわたる努力が一斉に開花している感じを受けました。

個人戦では、関原輝雄君が5回戦を勝ち抜き、続いての決勝戦で同職場の岡本紘一君を破って堂々優勝しました。

- 2位：山本ふじ枝(新四)
- 3位：渡辺千栄子(本州)
- 3位：井上篤子(本州)

貸付

①貸付の対象
原則として、製造業を営む人が購入する主要な設備
・45年4月1日から46年3月31日までに納入するもの

②貸付の条件
・利息：無利子
・金額：一〇万円～五〇〇万円(ただし、設備価格の3/5以内)

③申込
・期間 45年4月1日～同年4月25日
・窓口 富士川町商工会
④その他 詳細は申込窓口または県庁中小企業課へ

※団体戦

- ①各区対抗(11チーム)
優勝：宮町 2位：南松野
3位：北松野・新町四十九
- ②事業所対抗(8チーム)
優勝：本州A 2位：本州B
3位：野田合板AおよびB

※個人戦 (敬称略)

- ①男子(64名)
優勝：関原輝雄(本州・宮町)
2位：岡本紘一(本州・新四)
3位：古川和正(新四)
- ②女子(12名)
優勝：鈴木芳枝(一幼教員)

参加選手は佐野昇司(北松野)清勝元(堺町)加藤和久(小池)安藤文夫(北松野)の四選手優勝 小糸製作所 53分11秒
2位 清水陸友会 54'41"
3位 富士川体協 55'00"
4位 由比中OB 55'50"
以下、5位清水東高OB、6位清水商高Aの順。

婦人学級 家庭教育学級

それぞれ閉講式

町教育委員会主催の婦人学級（書道学級・郷土史学級）の閉講式が二月十三日午後一時、町教育委員会が委託した婦人会主催の家庭教育学級の閉講式が二月十八日午後一時、それぞれ老人福祉センターで挙行されました。

町婦人学級（田村先生指導）
田村重雄講師（公民館長）の一時間半にわたる講演「未来社会に

対する婦人の心構え」の後、修了証書の授与が行なわれました。

※郷土史学級（在籍60名10日）
終了証書授与数 35名（58%）
精勤賞 15名（25%）

※書道学級（在籍46名9回）
終了証書授与数 30名（65%）
精勤賞 16名（35%）

なお、郷土史婦人学級は文部省委嘱の婦人学級で、富士川地区、

町婦人学級 静岡市公会堂で バラエティ上演

富士川町婦人会（望月八代会長）は、昨年、町文化祭で発表したバラエティ「女は太陽であった」を、二月二十三日（日）午後一時、静岡市公会堂で上演しました。

44年度静岡県婦人会大会のアトラクションとして行なわれたもので、出演者は二百人。

次々繰り広げられる各場面の迫力に、場内われんばかりの拍手。県内の婦人たちに大きな感銘を与えました。（三月号に詳報）

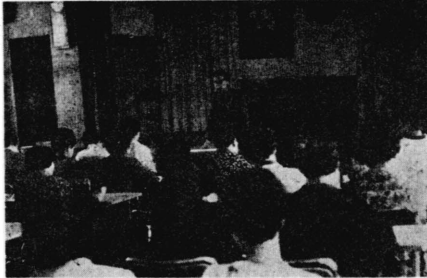


写真 町婦人学級閉講式
講演するのは田村先生

松野地区を一本にして学習してきましたが、書道学級は、学級生の自主的な運営の色彩濃く、両地区に分かれて学習してきました。

家庭教育学級（望月会長指導）
学級の事務担当田村先生（公民館長）のあいさつに続き、県社教関係の四人の講師を中心にシンポジウム方式による「これからの生活」を討議。全員80名（富38・松42）に終了証書が贈られました。年6回生活に密着した学習でした。

学習点景

郷土史婦人学級

文化財視察研修

各婦人学級の学級生は、任意に郷土史婦人学級の学習をとりあげ、ある日の活動に焦点をあててみました。同学級は、昨年十月八日、箱根の文化財を視察研修。

三十七人の学級生は、平田教育課長、田村公民館長、池谷社会教育主事に引率され、マイクロボス二台に分乗、小雨降る悪天候をついて目的地へ向かいました。

稲垣甲子男（学級講師・郷土史家）望月薫弘（土呂考古館・考古学者）両講師の説明をききながら箱根街道にいにしえをしのび、山中城跡をたずねて後、箱根博物館で文化財を参観、関所社を見学しました。

写真 望月先生（中央）の説明を聞き箱根一里塚を見学する学級生



はかりの定期検査

商取引または証明に使っている「はかり」は計量法によって定期検査を受けることになっていきます。受検日時4月9日から13日の間、富士川地区 2日間 第一公民館、松野地区 1日間 第二公民館。

表紙写真提供者の横顔
富士宮市在住・写歴四十年
全日本観光写真入賞二回・県
観光写真特選・富士宮市観光
写真一位・同市民展市長賞ほか入賞十数回

胃カイヨウ 胃ガンに 適確な診断器購入

共立蒲原総合病院

胃カイヨウ、胃ガンの早期発見のため、今回ファイバーガストロスコープという診断器を購入しました。

胃の精密検査は、レントゲン診断では十分ではありません。このガストロスコープは胃の中を直接観察しながら、写真で撮影診断し、なお、従来の胃カメラではできなかった特殊治療もできます。

専門の医師が東大より隔週水曜日、出張診療しますので、どうぞこの機会をご利用ください。

診療については、予約受付してあります。詳しくは医事課または内科にご相談ください。

所得税の確定申告

お早めに

期限 三月十六日

所得税の確定申告は、昨年一年間の所得や税額を納税者自身が計算して、税務署に申告するもので商・工・農業などの事業経営者や医師などの自由業の人はもちろん源泉徴収される給与所得者であっても、給与以外に一定額を越える所得がある人等は確定申告をしなければなりません。期間は二月十六日から三月十六日（十五日が日曜のため）までです。

お分かりにならない点は、税務署や役場税務課でご相談のうえ、申告してください。その際、次のようなものは、事前に用意しておきましょう。

- ① 源泉徴収票
 - ② 契約九千円以上の生命保険料の支払証明書
 - ③ 44年中に支払った損害保険料の支払証明書
 - ④ 医療費控除を受けようとする人は、その領収書
 - ⑤ その他、所得控除を受けようとする人は、これに必要な書類
 - ⑥ 申告人の住所・氏名・生年月日
 - ⑦ 配偶者、扶養控除該当者の氏名・続柄、生年月日
 - ⑧ 事業専従者の氏名・続柄・生年月日・従事月数
- （とくに青色申告の方は専従者

給与額、従事月数を忘れずに）※申告期限まぎわになると、税務署の窓口が混雑します。なるべく早めに申告してください。

新しく青色申告をする方へ
 青色申告には有利な特典があります。ことしから青色申告をしようとする方は「青色申告承認申請書」と「青色専従者給与に関する届出書」を三月十六日までに税務署へお出しください。

清水税務署
 所得税の確定申告と納税相談については、担当者を次の期間、富士川町役場へ派遣、皆さんの相談を受けますので、申告のできる方は済ませてください。

固定資産税の

課税台帳縦覧

あなたの45年度分固定資産税に関する固定資産課税台帳は、地方税法の規定によって、次の期間に限ってご覧になれます。

- ◆期間 3月1日～同月20日
- ◆場所 富士川町役場

（なお、課税に不服があり審査を請求する場合は期間は3月1日から同月30日まで）

富士川町青年会議

創設打合せ会開催

町教育委員会の提唱により、町内各種青年グループの代表者が、二月十二日午後六時、老人福祉センターに集まり「青年会議創設打合せ会」を開催しました。

町教委提唱理由→町青年諸君が、社会的発言力を高め、いっそう自己確立に資するため、散在する青年集団の力を結集して、地域社会の中心となるべきとき——青年団・劇団創炎・オケラ会・子ども会指導者会・だるま会・シネサークル等が対象集団。

今後、この富士川町青年会議がどのように自主運営されていくか関係者の注目を集めています。

▼落とし物▲

心当りの方は
ご連絡ください

町の方が、昨年十二月中旬、清水銀行富士川支店横入口付近で指輪を落とし、大切な記念の品だけに困っています。

心当りの方は、警察または役場へご連絡ください。
 ・石はオーストラリアオパール

身体障害者

職業訓練生募集

（大きさは人差指の爪ほど）
 ・台は18金（内側にK・Kのインシャル）
 ・輪は一〇・五

東京身体障害者職業訓練校は、45年4月入校生を左記により募集しています。

- ・入校資格
- ・身体障害者で義務教育修了者または同程度の能力をもつ人（年齢制限なし）

人の助けを借りないで自分の用をたせる方は入校できます。

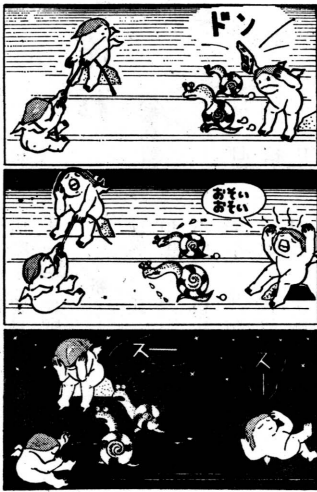
- ・訓練職種
- ・事務・機械製図・時計・木工・塗装・製くつ・洋服・洋裁・和裁
- ・編物・義肢装具・刻印
- ・訓練期間 一年（編物科半年）
- ・締切 3月7日
- ・応募手続

清水職業安定所身体障害者係（清水・51・三四〇）または、東京身体障害者職業訓練校（東京都小平市小川西町二二六四 郵番一八七・電〇四二三四一四一一）へお申し込みください。

・特典
 訓練期間中は、月額一万七千円から二万円の手当が支給されます
 また寮（無料）の設備もあり、月謝は無料です。

星の子

太田利三



人の流れ

(敬称略)

44・12・20〜1・19

旭町 望月公明 栄蔵 三男
本一 佐野博子 輝雄 長女

折 冥 福

富士川夜話

野 趣

氏 車 十

「庄さん、いるけえ?」
甲州鯉沢との舟運に従事する舟人、同僚の由蔵の声だ。

「あ、そうだっけ、奴も今日は非番だっけな」

うっらうっらしていた庄作は、

むっくりと起きあがり大きなあくびをした。八ツ(二時)過ぎだ。

勝手場には女房が障子を開け手を拭きながら笑った。

「おやおや、由さんですよ」

由蔵が、女房の背越しに、得意そうに一升徳利を掲げ左右に振っている。

「庄さん、これ、これ」

肌寒いとはいえ春だ。朝夕も一段と日がのびた。

「濁りだがよ、一ぺえおぬしとやりてえと思ってな」

「そうけえ、済まねえ。……」

ところで、河原へ行かぬか」

「ええっ河原へ?」

「そうよ、せっかくおぬしが持参の酒、少し趣向をこらして楽しみたいやね」

「いっやえ、なぜよ」

「なあに、春ともなりやあ、虫けらも窮屈な土の中を嫌って広い世にはい出てくる。わしらも冬

の間ふさぎこんだ心をつっぺんにばっとはらしてえ道理だあな」

「由さんはまだこの人の野遊びを知らなかったのかねえ。そうねえ、大体、季節の変わり目あたりにはんと妙なことをしでかすの。でも楽しいよ。行っておいでな」

「どうでえ、こんなせいせいした客間はあんめえ」

河原は、きれいな砂地に丸石が散在し、目の前を流れる富士川はあくまでも澄みきっている。

「さあ、おぬし、ほんの少しばかり働くによ」

「何をするんだ庄さん、見ねえ途中で魚を買ったり、芹を摘んだりしてきたで、西日が山の端へかかってでねえか」

「ほらほら、今日はわしに任せると指切りしたんだろ。いいかえ今から始めようとするしっらえがこの野遊びをいっそう味わいの深いものにするんだ」

由蔵は、言われるまま、大きな流水を集めて積み重ね、頭大の丸石を二、三十箇その上に適当に配置して火を放った。まもなく轟音とともに燃えあがった。庄作はそ

の間、二間ほど離れた場所に、具合よく座れる石を二つ並べ、その中央に小さな焚火を起こした。平たい石の上に一升徳利を据え、湯呑を並べて宴席を作り終えた。竹切れを拾い、器用に出刃を使って串に削り、小魚を丸ごと突き刺し塩をふって、火の周囲に数本立てた。餅を包んできた和紙を川にずぶりと浸し、むせぶほど春の香をただよわせる芹を固く包み、焚火の灰の中へ突込んだ。餅は遠火にあたるように加減した。

「ご苦労、さあこっちに來んかい」

酒は五臓六腑にしみわたり、熱い焼魚、しゃきしゃきと歯ごたえのいい芹は格好の肴である。

「うめえなあ、わしゃあ、こんなうめえ酒は、生まれてこのかた一度も呑んだことはねえに」

巨大な焚火の炎がおちたあと、丸石が真赤に焼けている。その場所から一間ほど川に寄って半坪ほどの水溜りがあるが、庄作は、長い棒を巧みにあやって焼石を次々水中へ投じた。激しい湯気がたつ

「さあ、客人よ、これが今夜のとっぺおきの馳走だ。深さは膝たけは十分あるに」

由蔵は驚嘆し、喜んだ。

満天の星。川風呂につかった二人の口から唄が流れた。(了)

編集覚書

訂正 ◆前月号表紙上段の体協陸上部(望月康江部長)とあるのは(若月伸元部長)の誤り◆同号2P三段目の町議員の給与に……とあるのは町職員……の誤りです。訂正しお詫びします。

※昨年二月二十四日は火電反対町民総決起大会。富士川魂の炸裂。※いよいよ本格的な春を迎える。四月十九日(日)は町教育委員会主催の第3回町民ハイキング、ふるさとの山を歩く町民交歓の場。去年もたいへん楽しかった。山菜を摘む喜び。ことしはどこへ? 81—1—1—広報富士川 斎藤 博

祝 結 婚	祝 誕 生
区名 新 郎 新 婦 旧 姓	区名 氏 名 保護者 続柄
本三 中川 勝 由子 松下	旭町 氏 秋山直子 哲男 長女
舟山 花田士郎 美恵子 中村	小池 二宮鉄雄 宣明 二男
堺町 堀沢 紘 閑美 永田	東一 斉藤千尋 臣弘 長女
小池 佐藤利雄 政子 望月	木島 斉藤良彦 昭 長男
川坂 井出穆良 弘美 田代	上町 清水 剛 将嘉 長男
宮町 佐野茂夫 幸子 佐野	小山 小林三恵 晨男 三女
相生 望月信行 みや子 戸塚	本一 太田智春 善万 長女
	上町 太田孝生 国弘 長男

転 出 (結婚)

区名 氏 名 年令	転出先
相生 大石チヨ 六〇	芝川町
小山 植松まさき 八〇	茨城県
幸町 小林たか 七二	富士市
大北 天野くら 七六	富士市
川坂 伊藤門平 七八	富士市
幸町 天野 久 二二	富士市
四十九 古川たつ 七七	富士市
舟山 太田喜平 六八	富士市
上町 古沢キチ 七一	富士市
清水 山崎米子 三二	富士市

転 出 (結婚)

訂正 ◆前月号表紙上段の体協陸上部(望月康江部長)とあるのは(若月伸元部長)の誤り◆同号2P三段目の町議員の給与に……とあるのは町職員……の誤りです。訂正しお詫びします。

※昨年二月二十四日は火電反対町民総決起大会。富士川魂の炸裂。※いよいよ本格的な春を迎える。四月十九日(日)は町教育委員会主催の第3回町民ハイキング、ふるさとの山を歩く町民交歓の場。去年もたいへん楽しかった。山菜を摘む喜び。ことしはどこへ? 81—1—1—広報富士川 斎藤 博

